

高松こども園だより

2023 秋

様々な色の落ち葉が舞い落ち、秋がいっぱいのこども園。子ども達はどんぐりや松ぼっくり、落ち葉など秋の自然物をキラキラした瞳で発見しています。保育者や友達と一緒にどのような遊びをしようかなとわくわくしている子ども達です。



3歳児 にじ・ゆきぐみ

園外の公園に散歩が気持ちの良い季節となり、子ども達とどんぐり拾いへ出掛けました！

公園にたくさんのどんぐりが落ちてると、「たくさんとれたよ！」「このどんぐりは、ぼうしをかぶっているよ」「おとうさんどんぐりとあかちゃんどんぐりがあったよ」と持ってきた袋がいっぱいになるくらいに詰め込んで満足そうな表情を見せる子どもたち。

拾ってきたどんぐりは、鍋に入れておいしいごちそうを作ったり、筒をつないで作ったトンネルにどんぐり転がして遊んだり、ポンドで段ボールにどんぐりや木の実をつけてケーキやオーナメントを作ったりと、遊びのなかで様々な物に変化させながら楽しんでいます。こうして身近にある自然物で遊びの中に取り入れながら季節を感じられる経験を、今後も楽しんでいきたいと思えます。



おおきいどんぐりはどこかな？



どんぐりのみちをながくしてみよう



なにがおちてたの？



いいものみ一つけた！

はっぱがながれていくよばいばーい



はっぱのうえは、おとがするね



0歳児 ももぐみ

歩くことがとても嬉しい0歳ももぐみ。園庭や近所の公園などいろいろな所に散歩に出掛けました。

落ち葉の上を歩くと「カサカサッ」と音がした時は、「おとがした！」と不思議そうな顔、どんぐりや木の実を見つけた時は“あった！”と嬉しそうな顔を保育者に見せてくれ、かわいい姿に保育者も自然と笑顔になってニッコリ。見つけたどんぐりや木の実は、指でつまんで袋の中に入れ、“自分の！”を喜んでいました。

これからも五感を使って、いろいろな体験ができるようにいっぱい遊んでいきたいと思えます。

